

広島技調じゃけん！通信

設計技術研修を開催しました！

本研修は、港湾行政の実務に携わる管内の技術者を対象として毎年開催しているものです。今年度は、オープン講義として（TV会議システムでも配信）、多くの職員に聴講していただきました。

参加者からは「普段の業務では聞けない内容であり、港空研の方の話を知ることができたので勉強になった。」
「設計についてあまり知識がなかったが、研修に参加したことで、これまで行ってきた業務について理解が深まった。」と好評でした。

《日 時》平成30年12月13日(木)～14日(金)



外部講師による杭や矢板に関する講義



チャート式耐震診断システムの演習



平成30年度
第2回

実りある学舎(まなびや)を開催しました！

本講演では、これまでの研究で明らかとされた浚渫土砂の圧縮特性から体積変化を概算することで土砂処分場の必要規模を簡易に推定できることを、モデルケースも交えてわかりやすくご説明いただき、とても有意義な講演会となりました。

土田教授にご講演いただくのは今回が最後ということもあり、多数の方に聴講していただきました。

参加者からは「初期含水比や液性限界等から、浚渫粘土の処分容量を予測できることは非常に実用的な予測手法であると感じた」「粘土の圧縮特性に応じた土砂処分場の合理的設計を今後の業務に活かしたい」とのお声をいただきました。

《日 時》

平成31年2月15日(金) 14:00～16:00

《テーマ》

港湾における土砂資源管理と
合理的な土砂処分場の考え方

《講師》

広島大学大学院 工学研究科 教授 土田 孝 氏



徳山下松港（新南陽地区）
土砂処分場（外周護岸）



上記講演会については、当事務所HPで詳しい情報をご覧ください。
なお、今後も開催を予定しておりますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。